

プレスリリース

令和3年4月19日
公益社団法人
国土緑化推進機構

第30回「みどりの文化賞」受賞者の決定について

公益社団法人国土緑化推進機構は、第30回「みどりの文化賞」受賞者を以下のとおり決定いたしました。

「みどりの文化賞」の表彰は、来る令和3年5月8日（土）、イイノホールで開催する第30回森と花の祭典「みどりの感謝祭」式典において行います。

「みどりの文化賞」受賞者には、

- ア みどりの感謝祭名誉総裁（皇族殿下）の表彰状
 - イ 公益社団法人国土緑化推進機構会長の賞牌・副賞
- が授与されます。

受賞者 たなか そうじ
田中 惣次 氏
(林業経営)

問合わせ先：公益社団法人国土緑化推進機構
担当：中井 電話3262-8457

第30回みどりの文化賞



私は森林の案内人

受賞者

田中惣次氏（74才）

- 1 田中惣次氏は、東京都檜原村で約500㍊の森林を所有し、江戸初期から続く林家の14代目である。首都圏の水瓶ともいえる地域で路網整備や新技術の導入による森林施業に積極的に取り組み、循環型の森林経営を行いつつ、その技術等を林研グループ活動等を通じて広く普及してきている。
また、大都市に近い地理的条件を活かし、多くの人々に所有森林を提供しながらボランティア活動を支え、森や林業の魅力を伝える「檜原森林塾」を主宰するなど、幅広い実践活動を通じて森林・林業関係者等に大きく貢献している。
- 2 急峻な所有林の管理に当たっては、路網整備の重要性に着目し、1990年頃から作業道の開設を始め、現在では約35,000㍊の作業道を整備して各種事業に活用するとともに、他に先駆けて林業機械による作業効率化を図り、搬出間伐等に積極的に取り組んでいる。さらに、雨天対策も含めて、薪への加工など育成天然林から搬出した材の有効利用に積極的に取り組んでいる。
- 3 森林経営に当たっては、森林の持つ公益的機能の維持増進を図りつつ、その土地の生産力を最大に活用するため、優良大径材生産を目指すとともに、コスト削減を図るため優良な大苗の植栽と自然の力を借りた天然下種更新への取組や針広混交林施業に取り組むなど、経営者として明確なビジョンを描いて経営に当たっている。
- 4 また、指導林家、林業研究グループのリーダーとしての自らの経験や技術

のみならず、林業経営の魅力を普及宣伝するとともに、所有森林のうち20%あまりを「遊学の森」として一般市民や子供たちの環境教育・自然とのふれあいの場として開放し、森林ボランティアと協働した作業を長年にわたり実施するなど極めて幅広い普及啓発活動に取り組んでいる。

さらに、自宅敷地内に「フォレストィング・コテージ」を自家山林産の木材を活用して建築し、年間2000名を超える宿泊を受け入れ、副業としても安定した収入を確保しつつ、「遊学の森」を活用した普及啓発活動の拠点ともなっている。

- 5 以上のように、氏の活動は、造林から生産・販売まで広範にわたる経営努力とともに、一般市民を巻き込んだ普及啓発活動にまで極めて幅広く及んでいる。永年にわたる地域社会の活性化や森林・林業・木材の普及啓発に果たしてきた功績は極めて大きなものがあり、後継者の育成と相まって、多くの林業者等の模範となっている。

(経歴・公職等)

1947 東京都檜原村に生まれる

1969 日本大学農獣医学部林学科卒業

同年 田中林業（自営）就職

全国林業研究グループ連絡協議会会長（2004～2010）

林業人材育成支援普及センター代表理事（2011～2017）

公益社団法人大日本山林会副会長（2011～2017）

一般社団法人全国林業改良普及協会副会長（2018～）

その他東京都、檜原村における森林整備・林業改良普及関係役職多数就任

(その他、受賞歴等)

1992 第10回朝日森林文化賞（森づくり部門）奨励賞受賞

2005 農林水産祭天皇杯（林産部門）受賞

森林インストラクター等森林林業関係の資格多数取得

(主な著書)

- ・私は森の案内人（創森社 1994）
- ・日本の森林を考える（明治書院 2011）
- ・本当はすごい森の話（少年写真新聞社 2016）

(参考)

みどりの文化賞の概要

1 概要

緑豊かな国土と新しい森林文化の創造に資する観点から、平成2年、国土緑化推進機構は「みどりの文化賞」を創設し、緑や森に関して顕著な功績のあった者（個人または団体）を対象として顕彰しています。

2 選考方法

広く学識経験者等から候補者の推薦を受け、それに基づいて有識者で構成する「みどりの文化賞選考委員会」において受賞者を決定します。

3 表彰

「みどりの月間」中に開催される「みどりの感謝祭」の式典において表彰し、みどりの文化賞受賞者には、

① みどりの感謝祭名誉総裁（皇族殿下）の表彰状

② 国土緑化推進機構会長の賞牌・副賞

を授与します。

みどりの文化賞 選考委員

(五十音順：敬称略)

- 青 山 佳 世 フリーアナウンサー
- 今 井 通 子 医学博士、登山家
国際自然・森林医学会 (INFOM) 会長
- 倉 本 聰 自然・文化創造会議議長、作家
- 佐々木 惠 彦 日本学士院会員
緑の循環認証会議会長
- 渋 澤 寿 一 NPO 法人共存の森ネットワーク 理事長
- 滑志田 隆 毎日新聞 終身名誉職員
- 箕 輪 光 博 東京大学 名誉教授
- 宮 林 茂 幸 東京農業大学 教授

「みどりの文化賞」のこれまでの受賞者

- 第1回 戦後の森林造成と国土緑化
(受賞者) 徳川宗敬 氏 (故人への顕彰)
- 第2回 木の文化の継承、発展に貢献した者
(受賞者) 西岡 常一 氏
- 第3回 森林と水との関わりを社会にひろめる
(受賞者) 財団法人 水利科学研究所 (団体)
- 第4回 森林と水の守り手, 山村を支える
(受賞者) 黒澤 丈夫 氏 (個人 群馬県上野村長)
- 第5回 森林と水の守り手, 山村を支える
(受賞者) 宮崎県諸塚村 (団体)
- 第6回 ボランティア活動による森林づくり
(受賞者) 草刈り十字軍 (団体)
- 第7回 持続的森林経営をめざす森林づくり
(受賞者) 高橋 延清 氏
- 第8回 大都会のなかでの自然豊かな森林づくり
(受賞者) 明治神宮の森 (団体)
- 第9回 海を蘇らせた森林づくり
(受賞者) えりも岬の緑を守る会 (団体)
- 第10回 「森林文化」の新たな展開

(受賞者) 筒井 迪夫 氏

第11回 民間公益団体による緑化活動支援

(受賞者) ゴルファーの緑化促進協力会 (GGG) (団体)

第12回 上下流の協力による森林づくり (団体)

(受賞者) (財) 矢作川水源基金

第13回 国際緑化活動の推進

(受賞者) 神足 勝浩 氏

第14回 地方自治による山村活性化への取り組み

(受賞者) 松形 祐堯 氏

第15回 国民参加の森林づくり運動の推進

(受賞者) 高木 文雄 氏

第16回 民間団体等による「国民参加の森林づくり」運動支援

(受賞者) 株式会社 ローソン (ローソン緑の募金) (団体)

第17回 森林を活かし、木の文化の伝承に貢献した者

(受賞者) 小原 二郎 氏

第18回 森林文化を未来に引き継ぐ森林管理

(受賞者) 神宮司庁営林部 (伊勢神宮宮域林) (団体)

第19回 民間団体による国際緑化活動の推進

(受賞者) (財) オイスカ (団体)

第20回 森林と人との豊かな関わりを目指して

(受賞者) 北村 昌美 氏

第21回 伝統の技が生み出す木の文化

(受賞者) 田中 文男 氏

第22回 「水と緑と土」は、豊かな自然の原点

(受賞者) 富山 和子 氏

さくらは日本のシンボル～大震災からの復興の励みに～

(受賞者) 佐野 藤右衛門 氏

第23回 日本の山から明るく豊かな展望の到来を願って

(受賞者) 島崎 洋路 氏

第24回 「^も森林の力を地域の力に」の実現を目指して

(受賞者) 中越 武義 氏 (個人 元高知県梶原村長)

第25回 「森は海の恋人」運動の実践を通じ豊かな日本の未来を目指して

(受賞者) 畠山 重篤 氏

第26回 「森の再生」と「心の再生」－豊かな森が持つ可能性を信じて－

(受賞者) C. W. ニコル 氏

地域資源とその機能を最大限に活用した地方創生

(受賞者) 岩手県 葛巻町 (団体)

第27回 再生産可能な未来のエネルギーの礎を築く

－木質バイオマス利用と農山村の復興への願いを込めて

(受賞者) 熊崎 実 氏

第28回 森が育む幼児の力

(受賞者) 佐藤 清太郎 氏

NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟(団体)

第29回 森林科学の未来を拓く

(受賞者) 木平 勇吉 氏